

2024年8月29日

日 本 銀 行

# 月例経済報告等に関する 関係閣僚会議・資料

—— 最近の金融市場の動き ——

# 1. 2024年7月金融政策決定会合での決定内容

## (1) 金融市場調節方針の変更

- 経済・物価は、これまで示してきた見通しに概ね沿って推移、賃上げの動きに広がり
- 輸入物価は再び上昇に転じており、先行き、物価が上振れするリスクには注意

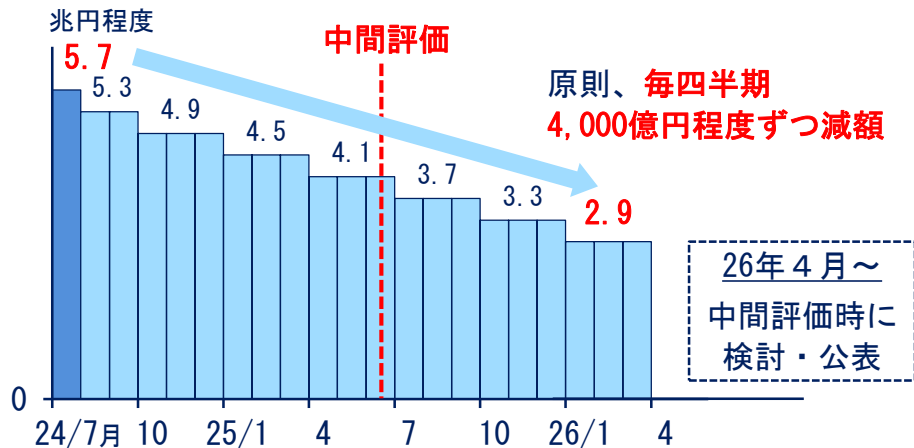
2%の「物価安定の目標」の持続的・安定的な実現という観点から、金融緩和の度合いを調整

短期金利（無担保コールO／N物）：「0.25%程度」に引き上げ（従来は「0～0.1%程度」）

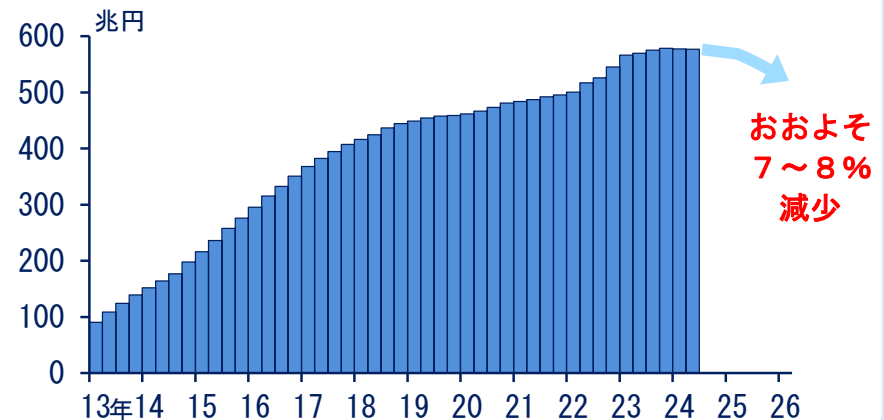
- 実質金利は大幅なマイナスが続き、緩和的な金融環境は維持 → 経済活動をしっかりとサポート
- 見通しが実現していくとすれば、引き続き政策金利を引き上げ、金融緩和の度合いを調整

## (2) 長期国債買入れの減額計画（2026年3月まで）

月間の買入れ予定額

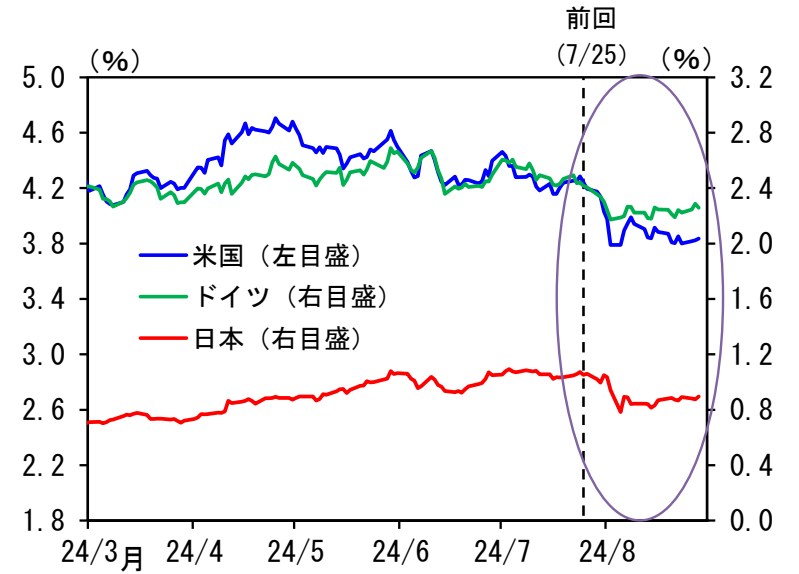
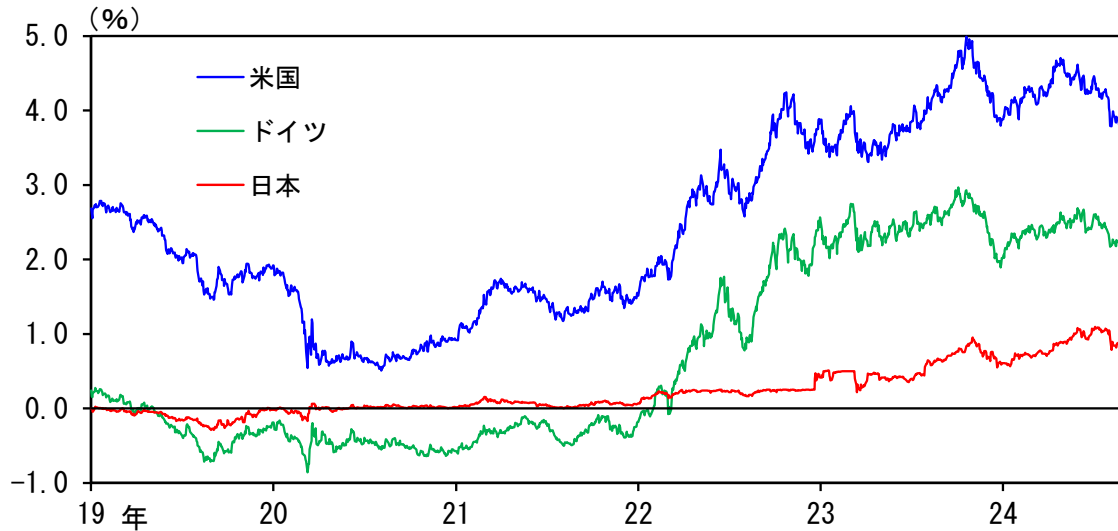


日本銀行の保有国債残高

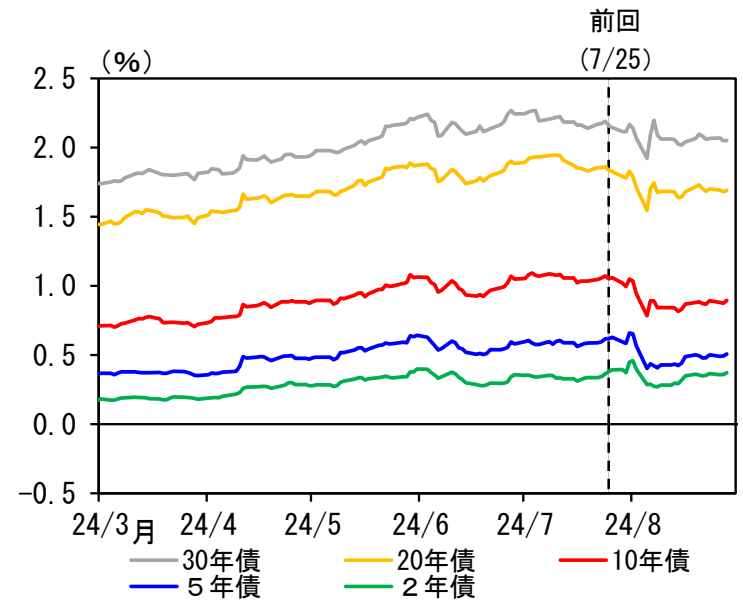
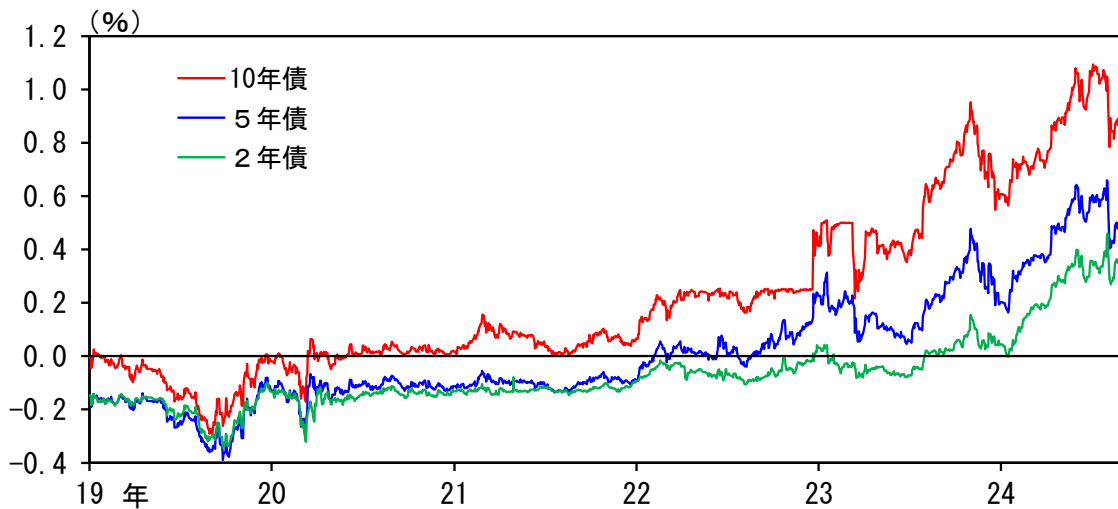


## 2. 債券市場

### (1) 主要国の長期金利



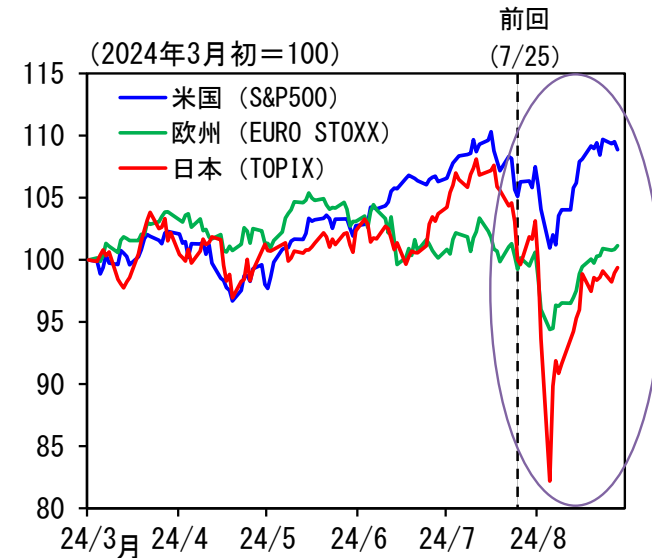
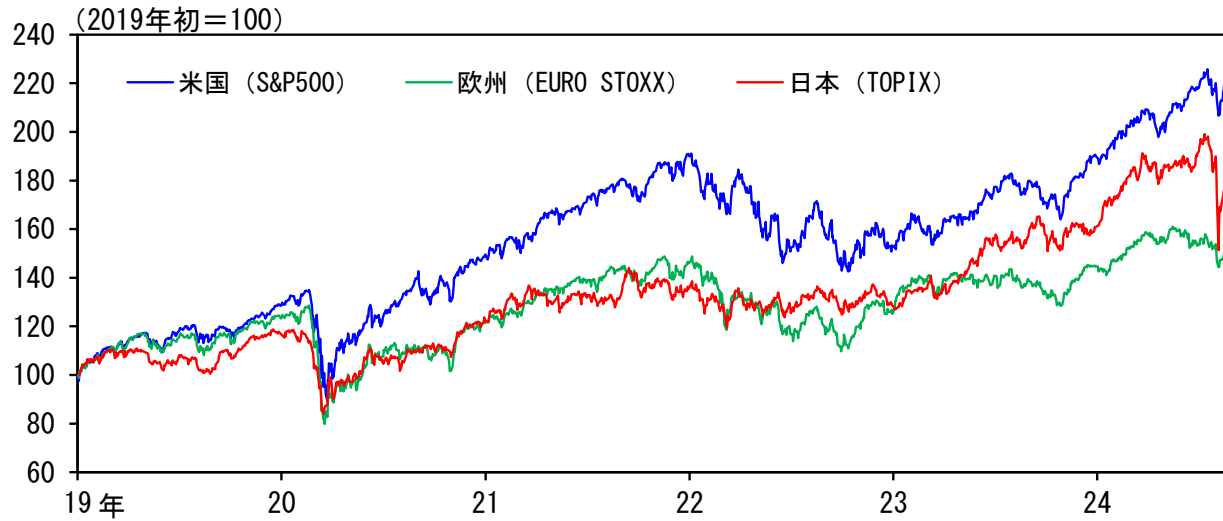
### (2) 日本国債利回り (年限別)



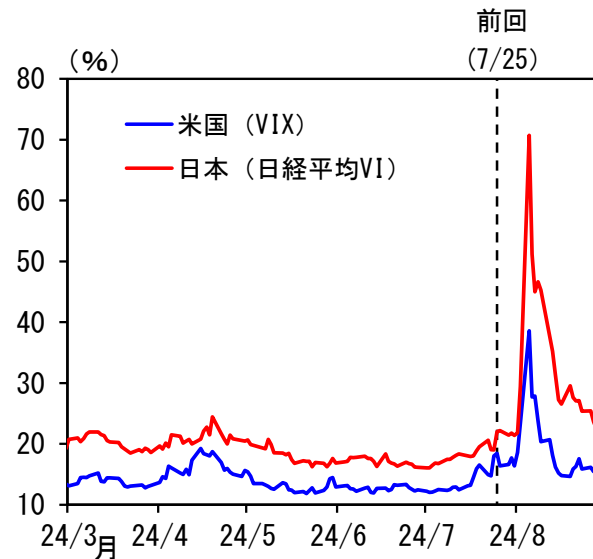
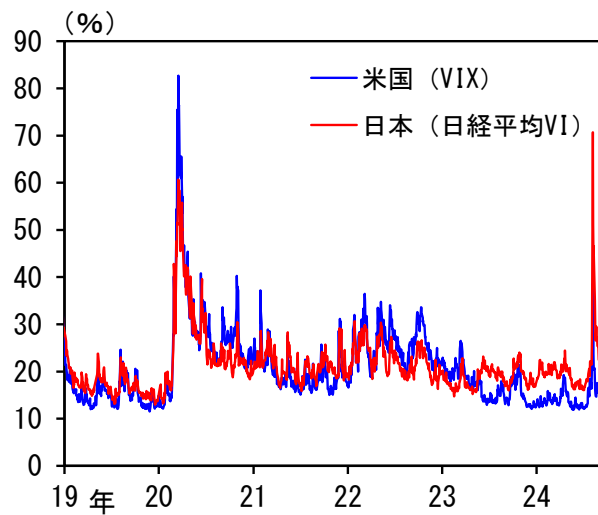
(出所) Bloomberg

### 3. 株価

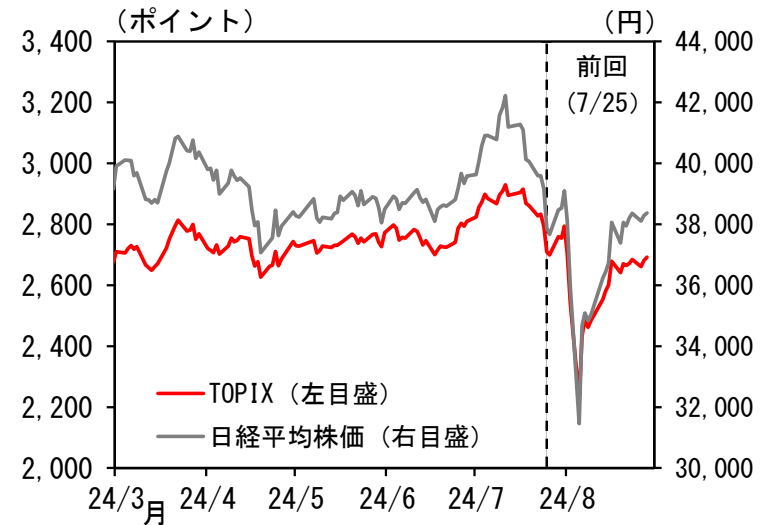
(1) 日米欧の株価



(2) 日米株価のボラティリティ



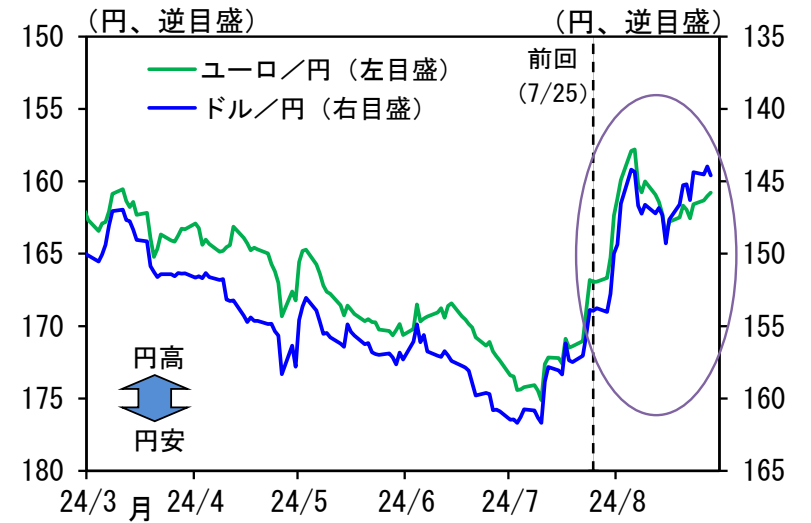
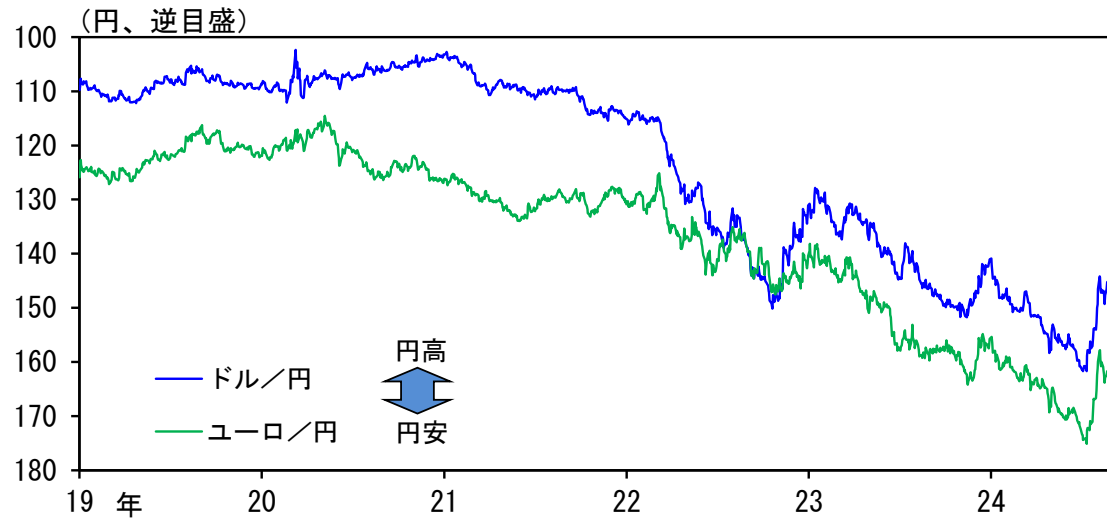
(3) 日経平均株価とTOPIX



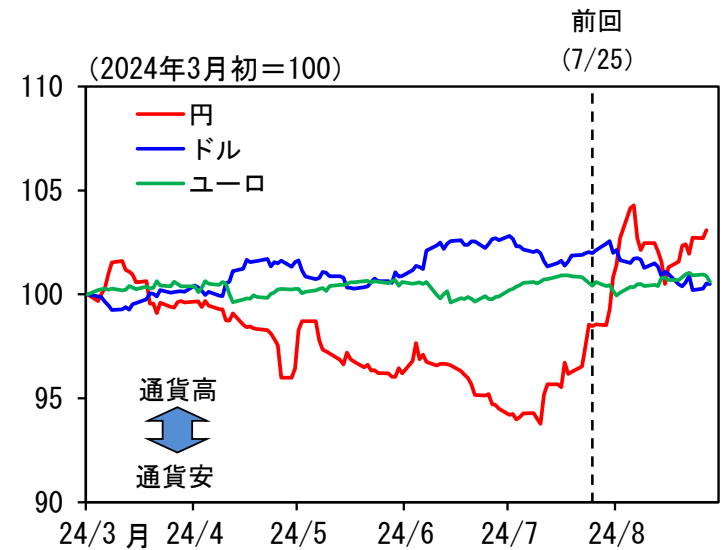
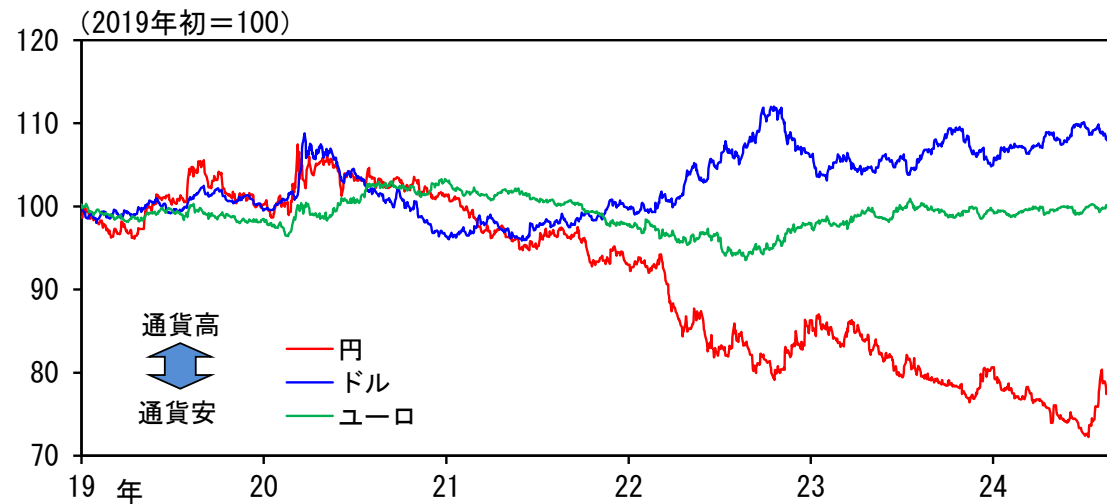
(出所) Bloomberg

## 4. 為替相場

### (1) ドル／円、ユーロ／円相場



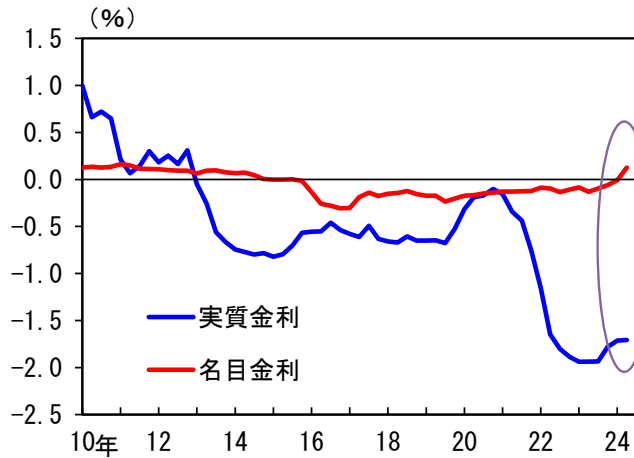
### (2) 名目実効為替レート



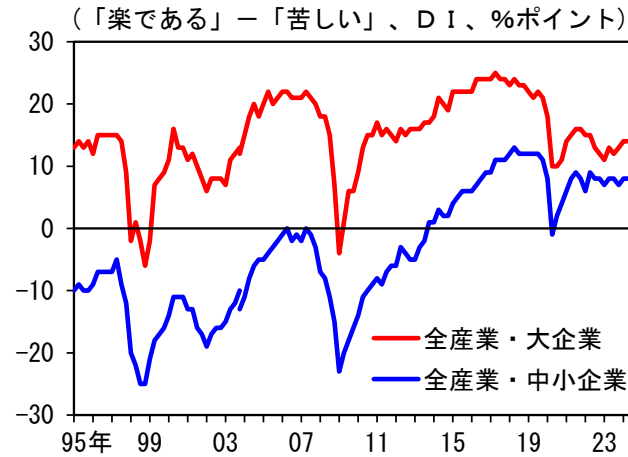
(出所) Bloomberg、LSEG Datastream、ECB、日本銀行

## 5. 国内の金融環境

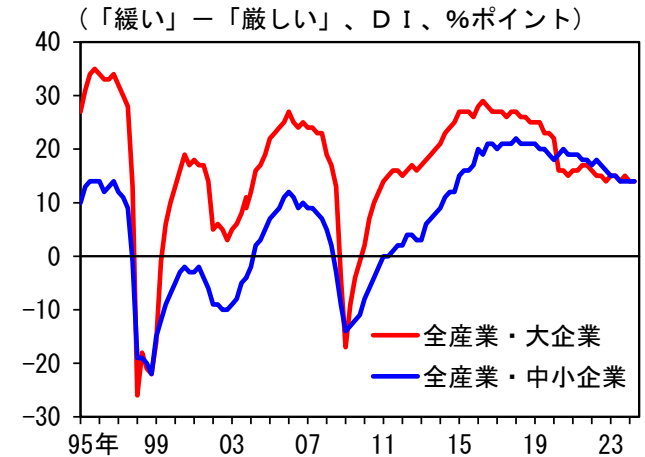
(1) 実質金利（1年金利）



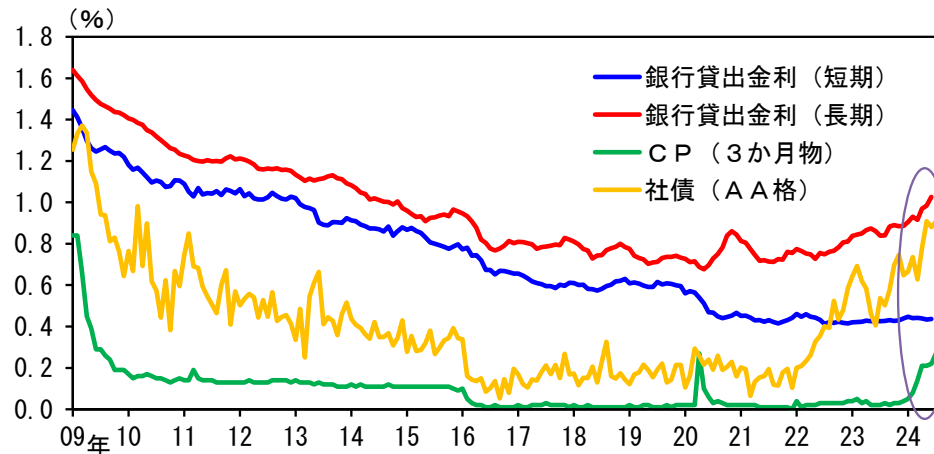
(2) 企業の資金繰り



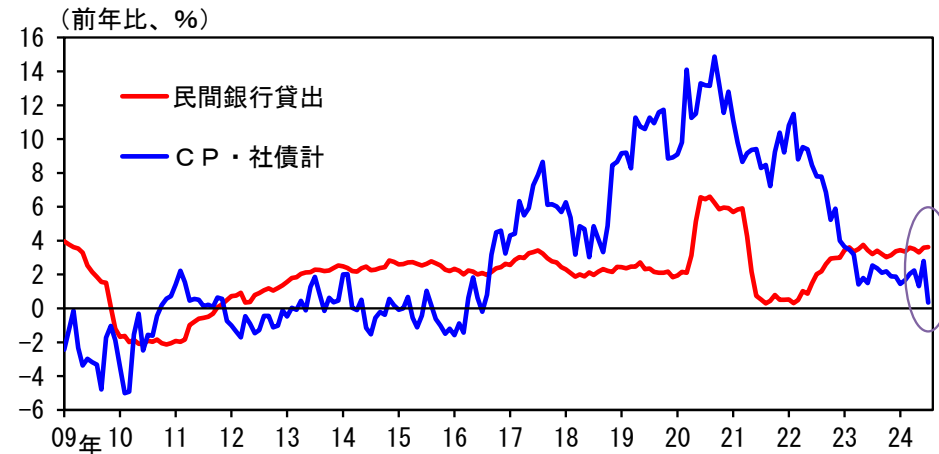
(3) 企業からみた金融機関の貸出態度



(4) 資金調達コスト



(5) 貸出残高とCP・社債発行残高



- (注) 1. (1) の実質金利は、国債利回り（1年物）から予想物価上昇率（日本銀行スタッフによる推計値）を差し引くことにより算出。  
 2. (2) は、短観の資金繰り判断DI。2003/12月調査には、調査の枠組み見直しによる不連続が生じている。  
 3. (3) は、短観の金融機関の貸出態度判断DI。2003/12月調査には、調査の枠組み見直しによる不連続が生じている。  
 4. (4) のCP発行利回りの2009/9月以前はa-1格以上、2009/10月以降はa-1格。社債発行利回りは、単純平均値、起債日ベース。対象は国内公募社債で、銀行や証券会社などの発行分は除く。銀行貸出金利（新規約定平均金利）は、後方6か月移動平均。  
 5. (5) の民間銀行貸出は平残前年比、CP・社債計は末残前年比。民間銀行貸出には、企業向けのほか、個人向け、地方公共団体向け等も含む。  
 (出所) 日本銀行、QUICK「QUICK月次調査<債券>」、Consensus Economics「コンセンサス・フォーキャスト」、Bloomberg、証券保管振替機構、キャピタル・アイ、アイ・エヌ情報センター